

「特認校とは」

【特認校制とは】

特色ある教育を希望して学校選択する学区外通学を認める制度（全国で200以上）

【具体例】～新潟県長岡市立太田小・中学校～

【太田スモール&グレイトスクールー小中連携学区開放校】

- ・小学校・中学校連携をしながら学校と地域が一体となった教育活動を展開してきた学校。
- ・H29年度は、小・中学生22名中、21名が学区外から通学。

（各学年10名程度を募集 特別支援学級なし）

《特色ある教育活動》

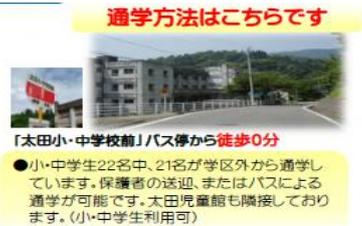
マンツーマンに近い少人数授業により学力の向上を目指す。

《小学校中学校併設を生かした教育活動》

小・中学校教師の連携した教育活動や合同行事により、小・中学生の交流や触れ合いを深める。

《太田から学ぶ体験活動》

太田の豊かな自然を体験する活動を通し、地域の歴史や文化について学ぶ。



【応募条件】

※詳細は長岡市小・中学校HP参照

- ・長岡市内に保護者とともに居住。太田小・中学校の教育計画に沿った学校生活ができる。
- ・1年以上通年通学できる。
- ・通学は保護者が責任をもって行い、通学にかかる交通費は保護者が負担できる。
- ・太田小・中学校の教育活動及びPTA活動について賛同し協力できる。

【成果と課題】

小中併設、小規模校のよさを生かして、小中学校が一体となって、運動会や文化祭、登山などの学校行事に取り組むことにより、子ども同士の触れ合いを深め、豊かな心の育成に努めている。小中連続した教育活動の展開により中1ギャップのような傾向が見られず、一人一人の子どもが自分の持ち味を発揮し、元気に伸び伸びと過ごしている。

学習指導においては、地域から学ぶ「太田学」（総合的な学習の時間）の中で、子どもたちに自分自身の生き方を考えさせている。太田地区の豊かな自然や資源を生かした体験活動を行うとともに、地域の歴史や文化について学習している。また、特色ある教育活動を一層充実させるために、外部講師を活用した「オープンスクールセミナー」において、紙すき、絵手紙、短歌・俳句などの授業を行っている。小学校では、中学校教師とのTTによる授業を年間20時間以上位置づけており、その結果、学習意欲が一層高まり、子どもたち個々の学力は向上してきている。

保護者は、この制度や教育活動の趣旨に賛同し理解を深めている。しかし、近年は保護者からの要請が多様化してきており、その要請への対応が今後の課題である。

【県内具体例】～小規模特認校 島田市立伊久美小学校～

- ・伊久身の恵まれた自然環境や地域との絆が子どもの自立を育てる
- ・平成29年度新規募集定員は全学年で10名
- ・通学は基本保護者負担だが、島田市が運行するコミュニティバス（市が負担）も利用できる。
- ・卒業後に進学する中学校は、住居のある地区の指定中学校か、北中学校（伊久美地区の指定中学校）のどちらかを選択できる。